

開設科目名	人間の尊厳と生命倫理	科目コード	MWSB901	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義、演習
責任者	桃井 雅子	担当者	井手 信、 牧山 強美、 桃井 雅子		
授業の概要（授業の目的）					
建学の精神「カトリックの愛の精神」に基づく、人間の存在、いのちの尊厳への理解を深める。医療技術の進歩に伴い新たに派生してきた性と生殖に関する様々な問題を倫理的側面から学ぶ。いのちの誕生に直接携わる専門職者としての倫理観の形成を目的とする。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1）人間の尊厳を基盤とした生命倫理の原則・主要概念を説明できる 2）臨床における助産の実践の中から倫理的問題を抽出することが出来る 3）母児の尊厳を尊重したケアの実践・アドボカシーについて考えることができる 4）建学の精神「カトリックの愛の精神」に基づく生命尊重とケアリングが実践できる				1 生命尊重とケアリング	
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1.	キリスト教における生命観と倫理	講義	牧山	・予習：参考書「いのちへのまなざし」第 1 章，「指針 人格の尊厳」序文ならびに第 1 部を読んでおくこと。 ・人間の存在、いのちの尊厳への理解を深めること。	4 時間
2.	個としての命の始まり、胎児・新生児の命の尊厳と医療倫理の原則	講義	井手	・参考書（看護学生のための医療倫理 1 6 – 2 3 ページ）を読んでおくこと。 ・当日一事例を紹介。	4 時間
3.	母児の尊厳を守る助産 ～助産師の使命と役割～	講義 発表 ディスカッション	桃井	・演習（発表、ディスカッション）に先立ち、第 1 回目および第 2 回目の講義を振り返り、いのちの始まりにおける助産師（看護ケア者）としての使命と役割とは何かについて、自らの姿勢や考えを振り返り、明らかにすることを試みる。 ・配布資料も事前に読んでおく。	4 時間
4.	いのちの誕生における人為的関与と生命倫理 事例学習① 倫理的問題の明確化	発表 ディスカッション	桃井	・演習（発表、ディスカッション）に先立ち事例に読む。 事例は「生殖医療」及び「出生前診断」と「障がいのある胎児・新生児のいのちの尊厳」に関する事例であり、自ら関連文献を探索し、事例への理解を深めておく。 ・第 1～3 回までの学びをもとに、何が、助産師として注目すべき倫理的問題であるか、またその理由・根拠は何かを、事前に考えておく。	4 時間
5.	事例学習② 倫理的問題の現状・課題の理解	発表 ディスカッション	桃井	・演習（発表、ディスカッション）に先立ち、第 4 回で明らかになった倫理的問題について、その現状と課題について、事前に調べておく。	4 時間
6.	事例学習③ 倫理的問題における助産師の役割・責務の検討	発表 ディスカッション	井手 桃井	・演習（発表、ディスカッション）に先立ち、第 5 回で取り上げた倫理的問題の現状と課題において、助産師の役割・責務とは何かを、事前に考えておく。	4 時間
7.					4 時間
8	キリスト教における生命倫理	講義	牧山	・予習：参考書「いのちへのまなざし」第 3 章，「指針 人格の尊厳」第 2 部ならびに第 3 部を読んでおくこと。	4 時間
成績評価方法・基準		① 発表（②のレポートを基にしたプレゼンテーション） 5 0 % ② 授業外レポート 5 0 %			
課題に対するフィードバック		授業外ポートに対しては、授業内の発表時に個別のコメントおよび全体の総評を行う。			
教科書		特に指定しない			
参考書・参考文献		・盛永審一郎他編（2012）：看護学生のための医療倫理，丸善出版，東京． ・日本カトリック司教団（2017）：いのちへのまなざし 増補新版，カトリック中央協議会，東京． ・教皇庁 教理省（2014）：指針 人格の尊厳 生命倫理のいくつかの問題について，カトリック中央協議会，東京． ・赤林朗（2017）：入門・医療倫理Ⅰ 改訂版，勁草書房，東京．			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ		＊ オフィスアワー：水曜日 16:30～18:00（桃井雅子） ＊ 学習相談：随時受け付けます。 ＊ メッセージ：助産師を志し本学（建学の精神のもと）で学ぶことの意味について、また、将来助産師として歩む自らの生命倫理観について、さらに、母子の人格の尊厳といのちを護る助産師（ケア者）として何を為すべきかについて、自ら深く考える機会を持ってくださることを願っています。			

開設科目名	生涯人間発達論	科目コード	MWSB902	開設期	前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、堺 裕、白川嘉継		
授業の概要（授業の目的）					
助産ケアにおける対象理解を深め、対象の発達段階に応じた援助を行うために、人間のライフステージにおける発達の特徴と発達課題について教授する。特に、乳幼児の成長・発達の特徴と発達過程、家族関係、社会関係、社会環境、地球環境が子どもの生涯にわたる健康におよぼす影響、発達障害や発達課題上の問題が母子関係、家族関係に及ぼす影響について教授する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 人間のライフステージにおける発達の特徴と発達課題を理解できる。				1 生命尊重とケアリング 3 ライフステージと健康	
2) 乳幼児期の正常な成長発達の特徴を理解できる。					
3) 子どもの発達に影響を与える家族等の人間関係及び子どもをとりまく環境について理解できる。					
4) 子どもの発達途上に生じる諸問題（発達障害、家族関係、心理的問題等）について理解できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	乳幼児① 健康診査・発達評価、フィジカルアセスメント	講義	堺	講義内容を復習する。	4 時間
2	乳幼児② 発育・発達と評価：粗大運動、微細運動	講義	堺	講義内容を復習する。	4 時間
3	乳幼児③ 発育・発達と評価：精神発達	講義	堺	講義内容を復習する。	4 時間
4	乳幼児④ 健康診査と疾病予防	講義	堺	講義内容を復習する。	4 時間
5	乳児期：人生への旅立ち 幼児期：三つ子の魂	講義	白川	講義内容を復習する。	4 時間
6	児童期：学びと社会化 思春期：子どもから大人へ	講義	白川	講義内容を復習する。	4 時間
7	母性意識の形成、母性脳 共にいること	講義	白川	講義内容を復習する。	3 時間
8	生涯人間発達と助産	演習 GW 発表	浅野	人間の発達の原初期に関わる助産の自己理解を復習し ケアを考察し、発表する。	3 時間
成績評価方法・基準	① 態度 10% ②レポート 20% ③演習 20% ④テスト 50%				
課題に対するフィードバック	演習の学修成果について、その場でフィードバックを行います。				
教科書	特に指定しない				
参考書・参考文献	ベッセル・ヴァン・デア・コーク、柴田裕之訳：身体はトラウマを記憶する、紀伊国屋書店、2016 白川嘉継 人生の基盤は妊娠中から 3 歳までに決まる 東洋経済（『家族看護学』テキスト） 江森愛子 江本新（最新版）：スピリチュアルケア 看護のための理論・研究・実践、医学書院、（共にいること 参照）				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	浅野美智留 水曜日 12:10～13:10 連絡先：7 号館 2 階 L 723 メールアドレス:asano@stmaryacjp.onmicrosoft.com オフィスアワーには、自由にドアをたたいてください。それ以外の時間帯はメールで予約を入れてください。				

開設科目名	性と生殖の形態機能Ⅰ	科目コード	MWSB903	開設期	前期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	浅野美智留	担当者	浅野 美智留, 中村薫		
授業の概要（授業の目的）					
<基礎的知識・正常編> 各ライフステージにおける女性およびマタニティサイクルにある妊産褥婦の健康課題を理解し、助産ケアを展開する上で必要となる、性と生殖を中心とした形態・機能学について教授する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 成人男女の生殖器（内性器・外性器）のしくみが理解できる。			1 生命尊重とケアリング, ◎ 2 自然性を尊重したケア 3 ライフステージと健康, ◎ 4 根拠にもとづくケア 5 主体性と自律 6 多様な社会の理解		
2. 女性の骨盤の仕組みが理解できる。					
3. 女性ホルモンの動態、性周期およびそれに伴う身体的・精神的変化を理解できる。					
4. 性差医療および女性が発生しやすい疾患について理解できる。					
5. 思春期女性の心身の特徴と生活や社会環境も踏まえて、健康問題に必要なケアを理解する。					
6. 成熟期女性の身体的・心理社会的発達が理解できる。					
7. 成熟期女性の健康の自己管理重要性和特徴的な健康問題に関する理解を深め、ケアの必要性を認識できる。					
8. 女性の更年期・老年期を生涯発達観から理解し、更年期女性および老年期女性の身体的特徴、心理社会的特徴、中高年女性の健康問題とヘルスケアの特長を理解することができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	性の機能、生殖の機能 骨盤の形態機能と分娩	講義	中村	テキスト①第 2 章分娩の経過の診断に必要な知識 テキスト②p14-16,61-67 を予習する	4 時間
2	性と生殖機能と医学的支援	講義	中村	助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）の学びに続くため、 その準備として講義資料・ノートを整理しておく。	4 時間
3	助産ケアの基礎知識であるホメオスタシス	講義	浅野	配布資料「生殖生理に関する視床下部―下垂体系 機能」「母子と免疫」を予習して臨む。	4 時間
4	母性を育み安産を導く性と生殖の機能生理 疾患を予防するケア：ストレスの影響	講義 GW	浅野	配布資料「排卵の診断と予知」を予習して臨む。講 義終了後、テキスト③ p 118 生体インピーダンス、 170-172、191-192 を読み、講義とつなげる。	4 時間
5	健康に産み育てるための、ホメオスタシスに基づく助産ケア	講義 GW	浅野	提示された課題を行う。 参考資料を提示する。	4 時間
6	成熟期女性のケア 生殖の形態機能と助産ケア	文 献 学習	浅野	提示された課題を行う。図書館にて理解を深める。 教員が学習ファシリテートします。	4 時間
7	思春期・成熟期女性のケア：	課 題 学習	浅野	提示された課題を行う。 参考資料を提示する。	3 時間
8	性と生殖の形態機能をエビデンスに健康を生成し、自然の 摂理を守る助産	講義 GW	浅野	参考書を活用し、提示された課題を行う。 参考資料を提示する。	3 時間
成績評価方法・基準		成績評価方法・基準は、① 定期試験 60%、② 授業態度・授業への参加度 10% ③ 課題レポート 30%、 課題に関しては、次回に理解度の確認を行い、質問に応じる。			
課題に対するフィードバック		課題に関しては、次回に理解度の確認を行い、質問に応じる。			
教科書(番号があるもの)		① 町浦美智子編（最新版）：助産師基礎教育テキスト、第 5 巻、日本看護協会出版会、東京。 ② 狛潤一、佐藤明子、水野哲夫、村瀬幸浩著（最新版）；ヒューマン・セクソロジー、子どもの未来社、東京。 ③ 我部山キヨ子、武谷雄二編（最新版）：基礎助産学 3、母子の健康科学、医学書院、東京。			

参考書・参考文献	・我部山キヨ子, 武谷雄二編（最新版）：基礎助産学 3 ,母子の基礎科学, 医学書院,東京. ・堀内成子編（最新版）：助産診断・技術学 I , 医学書院,東京. ・吉沢豊予子編（最新版）：女性の健康とケア, 助産師基礎教育テキスト[2], 日本看護協会出版会,東京. ・森恵美編（最新版）：妊娠期の診断とケア, 助産師基礎教育テキスト[4], 日本看護協会出版会, 東京. ・井上裕美他監修（最新版）：病気がみえる vol9, 婦人科・乳腺外科, メディックメディア,東京. ・井上裕美他監修（最新版）：病気がみえる vol10, 産科, メディックメディア, 東京. ・吉野慎一（2003）：脳内リセット、主婦の友社,東京. ・船瀬俊介（2006）：笑いの免疫学、花伝社,東京. ・ジャスティン・モベリ（最新版）：オキシトシン、晶文社,東京. ・ミシェルオダン（2000）：プライマル・ヘルス、メディカ出版,東京. ・安保徹著書多数
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	浅野美智留 水曜日 12:10～13:10 オフィスアワーには、自由にドアをたたいてください。それ以外の時間帯はメールで予約を入れてください。 メッセージ：心と体は一体であり、生活や霊性を含めてホリスティックに対象者を捉える助産実践の根拠となる形態機能学です。 難しいかもしれませんが妊娠・出産・育児・乳房ケア・児の成長発達・家族形成など全てのケアの基礎知識です。

開設科目名	性と生殖の形態機能Ⅱ	科目コード	MWSB904	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	村上文洋	担当者	村上文洋、葉清泉		
授業の概要（授業の目的）					
女性の一生の健康問題を性ホルモンの動態を基に理解し、また、生活習慣、環境から発症するライフサイクル各期の疾患を学ぶことにより、継続した保健指導（疾病予防含む）が展開できるよう、正常から逸脱した形態機能について事例をもとに教授する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 性ホルモンの動態・加齢による疾患の発生機序を理解する。			4) 根拠に基づく実践		
2. 女性のライフサイクル各期に起こる主な疾患の病態生理を理解する。					
3. 疾患の診断と治療を踏まえた疾病予防および療養生活指導を展開するための基礎となる知識を修得する。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ライフサイクル各期の性ホルモン動態と女性の健康 思春期疾患 1) 思春期と月経異常 2) 性感染症	講義	村上	テキスト①女性性器の構造と性機能を読んでおく	4 時間
2	成熟期疾患 1) 不妊症	講義	村上	テキスト①不妊・避妊を読んでおく	4 時間
3	成熟期疾患 2) 生殖器の感染症 3) 子宮内膜症 4) 子宮筋腫	講義	村上	テキスト①類腫瘍病変・前癌病変・腫瘍を読んでおく	4 時間
4	HPV 感染と子宮頸がん その他の悪性腫瘍	講義	葉	テキスト①類腫瘍病変・前癌病変・腫瘍を読んでおく	4 時間
5	加齢と妊娠 増加するリスク	講義	村上	テキスト①の該当箇所を読んでおくこと	4 時間
6	閉経と更年期疾患 1) 更年期障害 2) 高脂血症・虚血性心疾患 3) 骨粗しょう症	講義	村上	テキスト①加齢に伴う変化、テキストを読んでおく	4 時間
7	加齢と老年期疾患 1) 萎縮性膀胱炎 2) 子宮脱垂症 3) 骨粗しょう症	講義	村上	テキスト①加齢に伴う変化を読んでおく	4 時間
8	検査と薬物療法 ほか	講義	村上	テキスト①の該当箇所を読んでおくこと	4 時間
成績評価方法・基準		筆記試験 100%			
課題に対するフィードバック		最後に授業の総評を行う 小テストの解答解説を行う			
教科書		① 井上裕美他監修（最新版）：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科Jメディックメディア,東京.			
参考書・参考文献		特になし			
Wiisアワー 学習相談 メッセージ その他		村上文洋（非常勤）講義終了後、教室で質問等受け付けます。			

開設科目名	性科学	科目コード	MWSB905	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	工藤里香	担当者	工藤里香		
授業の概要（授業の目的）					
人間の根源である性を、臨床医学、看護学、心理学、社会学などあらゆる面から科学的に捉え、セクシュアル・ヘルス（性の健康）について理解を深め、助産師として実践的思考能力を高めるよう教授する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1．リプロダクティブヘルス、リプロダクティブィツについて理解できる				2 自然性を尊重したケア	
2．ライフサイクルと性について考えることができる					
3．性の多様性について、自分の考えを述べることができる					
4．セクシュアル・ヘルスについて、自分の考えを述べることができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	性の多様性、セクシュアリティ	講義	工藤	予習：教科書 Chapter I、Chapter II を読んでくること	4 時間
2	リプロダクティブヘルス、リプロダクティブライツ	講義	工藤	復習：リプロダクティブヘルス、リプロダクティブライツに対する自分の考えをまとめる	4 時間
3	ライフサイクルと性～第二次性徴、思春期	講義	工藤	予習：ホルモンの働きと排卵・月経について学習してくること	4 時間
4	ライフサイクルと性～成熟期、更年期、家族計画	講義	工藤	復習：ライフサイクルと心身の成長発達についてまとめる	4 時間
5	セクシュアル・ヘルスとは	講義	工藤	予習：配布する資料を読んでくること	4 時間
6	療養とセクシュアル・ヘルス	講義	工藤	予習：療養とセクシュアル・ヘルスについて調べてくること	4 時間
7	性暴力被害・性暴力加害	講義	工藤	予習：教科書 Chapter V を読んでくること	4 時間
8	性の商品化	講義	工藤	復習：暴力に対する自分の考えをまとめることができる	4 時間
成績評価方法・基準	課題 50% － 授業終了後、テーマを設定し、レポートを提出していただきます。 討論 30% － 授業は、受講者の皆さんの討論で進めていきます。 発表 20% － テーマを決めて、授業中に発表を行っていただきます。				
課題に対するフィードバック	課題として提出していただいたレポートは、採点后、コメントを入れて返却いたします。				
教科書	粕潤一、佐藤明子、水野哲夫、村瀬幸浩著（最新版）；ヒューマン・セクソロジー,子どもの未来社,東京.				
参考書・参考文献	特に指定しない				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	工藤里香（非常勤） 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。また、メールでも受け付けます。 kudo-r@pu-toyama.ac.jp まずは、自分のセクシャル・ヘルスから考えていき、看護としてできることは何かを討論していきたいと思います。日頃から新聞、テレビニュース、雑誌等で性、暴力、人権等に関連するトピックスに関心を払うように心がけてみてください。授業の中でもできる限り最新のニュースに触れていきたいと思います。				

開設科目名	家族看護学	科目コード	MWSB906	開設期	前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義・演習
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、野口ゆかり、川上桂子		
授業の概要（授業の目的）					
マタニティサイクルおよび子育て期にある女性とその家族を包括的にとらえ、家族全体の支援者として必要な知識・技術・態度を学修する。家族看護を展開するために必要な基礎理論を学び、具体的な事例検討を通して実践的思考能力を高める方法を教授する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 基本的な家族看護論について説明できる。				3 ライフステージと健康 6 多様な社会の理解	
2. 家族の事例を通して、家族アセスメント方法を理解できる。					
3. 家族の事例を通し家族介入の方法を理解できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	現代の家族支援における助産の役割 家族形成支援の生理学的根拠	講義	浅野	講義後のレポート課題 A4 1 枚 「あなたにとっての家族とは」	4 時間
2	家族形成支援におけるケアリング・対話、世代間伝達 胎児期・乳児期の発達と家族の役割	講義	浅野	講義において課題を提示します。	3 時間
3	家族形成期の支援：誕生前から/分娩時の支援	講義 GW	浅野	講義において課題を提示します。	3 時間
4	家族形成期の支援：母親	講義 GW	浅野	講義において課題を提示します。	4 時間
5	家族形成期の支援：父親・祖父母	講義 GW	浅野	講義において課題を提示します。	4 時間
6	家族形成期の支援：きょうだい	講義 GW	浅野	講義において課題を提示します。	4 時間
7	家族の事例検討（家族員・助産師のロールプレイ）	演習 GW	浅野 他	バースレビューや退院時を想定し、各家族が自身の家族 を形成する力を支援するロールプレイを完成させる。	4 時間
8		発表	浅野 他	ロールプレイの発表・意見交換 レポート課題 A4 1 枚「ロールプレイを行って」	4 時間
成績評価方法・基準		演習 60% 演習参加度相互評価 20% 課題提出 20%			
課題に対するフィードバック		レポートにはコメントを入れて返却いたします。			
教科書		白川嘉継 人生の基盤は妊娠中から 3 歳までに決まる 東洋経済			
参考書・参考文献		キャサリン・エリソン なぜ女は出産すると賢くなるのか ソフトバンクパブリッシング株式会社 シルバーナ Q. モンター・ロ イのちのひみつ KTC 中央出版 吉村正 母になるまでに大切にしたい 33 のこと WAVE 出版 渡辺久子 母子臨床と世代間伝達 ジャスティン・ウヴェネス・モベリ オキシトシン 私たちのからだがつくる安らぎの物質 晶文社 ミルトン・メイヤロフ ケアの本質 ゆみる出版			
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他		浅野美智留 水曜日 12:10～13:10 オフィスアワーには、自由にドアをたたいてください。それ以外の時間帯はメールで予約を入れてください。 メッセージ：家族の誕生に立ち合う助産師が、何を大切にし、どんなメッセージ性を家族と共有するかが、母親と赤ちゃん（および家族）が一生の健康を考える機会となります。その生理学的根拠は『性と生殖の形態機能Ⅰ』です。 健康な家族形成を支援する職責の重さを考え、学びたいと思います。			

開設科目名	遺伝学	科目コード	MWSB907	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（ 必修 ）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	川上 桂子	担当者	川上桂子 中田 稔、斎藤伸道、有森直子 桃井雅子		
授業の概要（授業の目的）					
社会環境の変化による高齢出産の増加や遺伝子診断技術および遺伝子治療等先端医療の進歩によって、今、あらためて遺伝性疾患への対応が注目されている。これらの現状をふまえ、保健医療の専門職者として遺伝に関する問題を抱える対象に適切な対応が可能となるよう臨床遺伝学の基礎的知識と臨床応用を学ぶことを目的とする。周産期遺伝領域における遺伝看護学に必要な基礎的知識（細胞遺伝学、分子遺伝学、遺伝様式の理解、遺伝頻度の推定、家系図作成）および遺伝性疾患の診断に関する専門的知識について学修する。また、遺伝に関するケアニーズを有する対象者とその家族への看護について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. ヒトの遺伝の仕組みを理解する			1 生命尊重とケアリング 2 自然性を尊重したケア 4.根拠に基づく実践		
2. 遺伝疾患の成り立ちとその医療の概要を知る					
3. 周産期における遺伝医療の現状を知る					
4. 遺伝／ゲノム看護において、ケアニーズを有する対象者とその家族への遺伝看護について理解する。さらにそこで助産師に求められるケア者としてのあり方、役割と責務について考察する					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ヒト遺伝学の基礎：遺伝子と染色体	講義	中田	事前配布するプリントに従い予習する	4 時間
2	ヒト遺伝学の基礎：遺伝と環境	講義	中田	事前配布するプリントに従い予習する	4 時間
3	臨床遺伝学	講義	中田	事前配布するプリントに従い予習する	4 時間
4	周産期における遺伝医療の現状 ～ N I P T , 着床前診断について～	講義	斎藤	前回授業の復習、及び事前に提示された資料を予習する	4 時間
5	遺伝／ゲノム看護（概論）	講義	有森	事前配布するプリントに従い予習する	4 時間
6	遺伝看護と意思決定支援	講義	有森		4 時間
7	遺伝看護の実際（ケース・スタディ）	講義	有森		4 時間
8	遺伝／ゲノム看護における助産師の役割と責務	講義 GW	川上他	第 1～7 回の講義内容の復習を受けて、助産師の役割と責務について自らの考えをまとめておく	4 時間
成績評価方法・基準	①定期試験 50% ②授業外レポート・授業への参加度 50%				
課題に対するフィードバック	上記課題については、講義中、または後日フィードバックを行う				
教科書	① 小林康江編著 助産師基礎教育テキスト第 4 巻 日本看護協会出版会 2020				
参考書・参考文献	河合蘭（2015）出生前診断-出産ジャーナリストが見つめた現状と未来-（朝日新書） 福島義光監訳（2009）「トンプソン＆トンプソン遺伝医学」（メディカル・サイエンス・インターナショナル） 有森直子他編（2018）遺伝／ゲノム看護（医歯薬出版） 中山和弘他編（2012）患者中心の意思決定支援 納得して決めるためのケア（中央法規）				
ワイヤー 学習相談 メッセージ	非常勤講師 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。 科目責任者 * オフィスアワー：水曜日 16:30～18:00 * 学習相談：上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時ご対応いたします。事前にご連絡ください。 * 連絡先：川上 桂子 2 号館 1 階 L219 メールアドレス：kawakami@st-mary.ac.jp * メッセージ：講義の復習を行い、正しい知識を身につけて下さい。「人間の尊重と生命倫理」と併せて学びを深めましょう。				

開設科目名	助産学概論	科目コード	MWSA901	開設期	前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	浅野美智留	担当者	浅野 美智留, 桃井 雅子, 野口ゆかり, 川上桂子		
授業の概要（授業の目的）					
助産の基礎となる概念、助産ケアの理念と助産師に求められる役割・責務について学び、助産師としての自らのあり方（助産師としてのアイデンティティ）を培う。現代における女性の健康課題、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する課題、また母子保健の現状と課題について学び、考察するとともに、助産師の将来像を展望する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 助産の概念、助産ケアの理念と助産師に求められる役割・責務について理解できる。			◎ 1 生命尊重とケアリング 2 自然性を尊重したケア 3 ライフステージと健康 4 根拠にもとづくケア ◎ 5 主体性と自律 6 多様な社会の理解		
2) 助産師と助産実践に関わる倫理について理解できる。					
3) 女性のライフステージにおける健康課題、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する課題について理解と考察ができる。					
4) 母子保健の歴史と変遷、現状と課題を理解し、今後に向けて助産師が取り組むべき課題について考察できる。					
5) 上記 1) ～ 4) を通して、命とその尊厳を護り支える助産専門職者としてのあり方を考察できる。さらに、助産師の将来像について展望し、考察することができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	助産・助産婦の職能 助産パラダイム	講義	浅野	現在の自己の助産観を明確にして臨む。テキスト第 1 章を読んでおく。	6 時間
2	助産ケアの理念① 対象の理解、意思決定の支援	講義	桃井	テキストの該当箇所を読んでおく、 テキストおよび資料の見直しと考察	2 時間
3	助産ケアの理念② Women-Centered care Family-Centered Care	講義	桃井		2 時間
4	助産師・助産実践と倫理	講義	桃井		2 時間
5	女性の健康とリプロダクティブ・ヘルス/ライツ	GW	浅野	事前課題に個人で取り組み、プレゼンテーションの準備をする。	2 時間
6	母子保健の歴史と変遷	GW	浅野	授業内容を振り返り、考察する。	2 時間
7	お産の歴史と文化	講義 GW	浅野 他	事前・事後準備を講義にて示す。 助産の概念をグループでまとめ、発表、意見交換をする。	6 時間
8	助産師の役割と責務	講義 GW	浅野 他	講義全体を復習し、助産の概念をグループで完成させてまとめ、発表・意見交換をする。	6 時間
成績評価方法・基準	① レポート 70％ ② 講義への取り組み・参加状況：25％ ③ 成果物の発表 5％ ＊演習のテーマは講義中に提示します。				
課題に対するフィードバック	課題のフィードバックは、授業中および本科目の最終講義時に行います。				
教科書	我部山キヨ子,武谷雄二編,（最新版）： 基礎助産学〔1〕助産学概論、医学書院				
参考書・参考文献	・レズリー・ページ：新助産学、メディカ出版、2002 ・サリー・インチ：パースライツ 自然なお産の設計のために、メディカ出版、1992 ・ジャネット・バラスカス：ニュー・アクティブ・パース、現代書館、1998 ・日本カトリック司教団：いのちへのまなざし、カトリック中央協議会、2017 ・吉村典子編：出産前後の環境、昭和堂、1999 ・プリジット・ジョーダン：助産の文化人類学、日本看護協会出版会、2001 ・ジュディス・ゴールドスミス：自然出産の智慧、日本教文社、1997 ＊他、事前に、各回に備えて購読していただきたい文献を提示いたします。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	浅野美智留 水曜日 12:10～13:10 オフィスアワーには、自由にドアをたたいてください。それ以外の時間帯はメールで予約を入れてください。お昼休みの時間帯は、 メッセージ：助産師が対象者を中心に、対象者と共に生き、特に生まれ育つ生活において、対象者より健康生きることを追求する職能です。その職責の重さを考え、共に学びたいと思います。				

開設科目名	助産診断技術学Ⅰ	科目コード	MWSA902	開設期	前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義、演習
責任者	浅野 美智留	担当者	浅野 美智留、野口ゆかり、川上 桂子		
授業の概要（授業の目的）					
妊娠各期にある女性（胎児を含む）およびその家族を身体・精神・社会的側面から全人的に理解し、より wellness な状態に導くために必要な概念や基礎理論、助産過程、基本的な助産技術について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 妊娠各期にある女性（胎児を含む）およびその家族の身体的・心理的・社会的状態について理解できる。			◎1 生命尊重とケアリング ◎2 自然性を尊重したケア 3 ライフステージと健康 ◎4 根拠に基づく実践		
2. 妊娠各期にある女性に対し、助産診断のためのフィジカルアセスメント及び基本的な助産技術が実施できる。					
3. 妊娠各期にある女性（胎児を含む）およびその家族の事例を用いて、より wellness な状態に導き、異常を早期発見するためのアセスメント、助産診断・計画の立案ができる。					
4. 妊娠各期にある女性（胎児を含む）およびその家族に対する必要な健康教育について理解し、実施できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	妊娠期にある女性（胎児を含む）の身体的状態 ①（助産診断・助産過程）	講義	浅野	予習：テキスト①第1章、第2章、第5章11.2.3を読み、その内容について参考書①などを参考にして理解しておく。	2 時間
2	ロイ適応看護モデル	講義	日高	講義資料を復習しておく。	2 時間
3	妊娠各期に対応したケア：妊娠前期①	講義	浅野、野口、	講義中に課題を提示する。	2 時間
4	事例を用いた助産過程の立案	演習 GW 発表	川上 他	テキスト③も用いて健康教育・ケアを組み立てる。	2 時間
5	妊娠期にある女性（胎児を含む）の身体的状態 （妊娠中期）	講義	浅野	予習：テキスト①第5章4を読み、その内容について参考書①などを参考にして理解しておく。	2 時間
6					2 時間
7	妊娠各期に対応したケア：妊娠中期①	講義	浅野、野口、	講義中に課題を提示する。	2 時間
8	事例を用いた助産過程の立案	演習	川上、他	テキスト③も用いて健康教育・ケアを組み立てる。	2 時間
9	健康教育	GW 発表			2 時間
10	妊娠期にある女性（胎児を含む）の身体的状態 （妊娠後期）	講義	浅野	予習：テキスト①第5章5を読み、その内容について参考書①などを参考にして理解しておく。	2 時間
11					2 時間
12	乳房の発達・生理	講義 演習 GW	浅野 他	予習：テキスト②第4章1.2を読み、その内容について参考書①などを参考に理解しておく。	2 時間
13	妊娠各期に対応したケア：妊娠末期	講義	浅野、野口、	講義中に課題を提示する。	2 時間
14	事例を用いた助産過程の立案	演習	川上、他	テキスト③も用いて健康教育・ケアを組み立てる。	2 時間
15		GW 発表			2 時間
成績評価方法・基準		定期試験 60% 授業参加度 10% 保健指導・助産過程の最終成果物の提出 30%			
課題に対するフィードバック		提出物にはコメントを書いてお返しいたします。			
教科書		① 森恵美編（最新版）：妊娠期の診断とケア、助産師基礎教育テキスト第4巻、日本看護協会出版会、東京 ② 横尾京子（最新版）：産褥期のケア・新生児期・乳幼児期のケア、助産師基礎教育テキスト第6巻、日本看護協会出版会、東京 ③ 我部山キヨ子，武谷雄二編（最新版）：基礎助産学3,母子の健康科学,医学書院,東京			

参考書・参考文献	① 齊藤純子（最新版）：まってるね赤ちゃん、マガジンランド、東京 シスター・カリスタ・ロイ（最新版）：ザ・ロイ適応看護モデル，医学書院，東京. その他、適宜紹介します
ワイアワ 学習相談 メッセージ その他	浅野美智留 水曜日 12:10～13:10 連絡先：7 号館 2 階 L 723 メールアドレス:asano@stmaryacjp.onmicrosoft.com オフィスアワーには、自由にドアをたたいてください。それ以外の時間帯はメールで予約を入れてください。お昼休みの時間帯は、お弁当を持ってきていいですよ。一緒に食べながら話しましょう。 メッセージ：継続事例の妊娠期実習に必要な科目です。 妊娠期の健康教育が安全・安楽なお産につながります。 テキストだけでは足りないので、専門書から確かな情報を得てください。

開設科目	助産診断技術学Ⅱ	科目コード	MWSA903	開設期	前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	60 時間	授業区分	講義 演習
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子 浅野 美智留, 野口ゆかり、寺田恵子, 山下珠美 、 下村卓也 他		
授業の概要（授業の目的）					
分娩期の女性（胎児及び新生児を含む）を身体的側面，精神的側面，社会的側面から全人的に捉え，安全で満足のいく出産となるよう具体的な支援技術を学修する。分娩の正常経過の診断とアセスメントを行い，必要なケアを実践できるよう知識と技術を習得する。 出生直後の新生児のヘルスアセスメントと蘇生法について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 分娩経過に関する助産診断に必要な基礎知識を理解することができる。			1. 生命尊重とケアリング		
2. 安全・安楽に配慮した分娩介助に必要な技術を習得することができる。			◎ 2.対象のもてる力・自然性を尊重したケア,		
3. 出生直後の新生児の観察とケアに必要な知識を理解することができる。			3. ステージと健康		
4. 産婦とその家族の意思・主体性を尊重し，産婦にとって満足のいく出産となるように支援する方法を 考えることができる。			◎ 4.根拠に基づく実践		
5. 演習を通して模擬体験を行いながら，リラクゼーションや産痛緩和の方法を習得することができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	分娩期のケア： 分娩の概念、分娩経過・助産師のケア、分娩の 4 要素	講義	川上	テキスト① 第 1・2・3 章を読んでおく 配布資料を復習して理解しておく	1 時間
2	分娩経過の診断に必要な基礎知識 分娩の 3 要素	講義	川上	テキスト① 第 2・3 章を読み課題を予習する 配布資料を復習して理解しておく	1 時間
3	分娩経過の診断に必要な基礎知識： 分娩機序、分娩が母体・胎児に及ぼす影響	講義	川上	テキスト① 第 2・3 章を読み課題を予習する 配布資料を復習して理解しておく	1 時間
4	分娩経過の診断に必要な基礎知識 産婦の心理的、社会的、文化的状態 分娩の 4 要素の関連性	講義	川上	テキスト① 第 2・3 章を読み課題を予習する 配布資料を復習して理解しておく	1 時間
5	分娩経過の診断・アセスメントの視点： 分娩開の診断、娩出力	講義	川上	テキスト① 第 2・3 章を読み課題を予習する 配布資料を復習して理解しておく	1 時間
6	分娩経過の診断・アセスメントの視点： 産道・胎児および付属物	講義	川上	テキスト① 第 2・3 章を読み課題を予習する 配布資料を復習して理解しておく	1 時間
7	分娩進行に伴う正常経過逸脱の予測と予防： 遷延分娩 回旋異常分娩	講義	川上	テキスト① 第 4・6 章を読み課題を予習する 配布資料を復習して理解しておく	1 時間
8	分娩促進のケア・産通緩和	講義	川上	テキスト① 第 4 章を読み課題を予習する 配布資料を復習して理解しておく	1 時間
9	分第 1 期の診断・アセスメントとケアの展開： 事例①陣発電話連絡	講義 ロールブ レイ GW 発表	川上、 浅野 野口他	テキストや参考書などを参考に課題を予習してくる 事例の展開	1 時間
10	入院時分娩第 1 期の診断・アセスメントとケアの展開： 事例②潜伏期・活動期			復習：事例の修正、疑問点を明らかにする	1 時間
11	分娩第 2 期の診断・アセスメントとケアの展開： 事例③ 分娩第 2 期				1 時間
12	分娩第 3 期～分娩後 2 時間までの診断・アセスメントと ケアの展開： 事例④第 3 期～分娩後 2 時間まで				1 時間
13	分娩期の助産過程の展開 事例①～④分				1 時間
14	娩期の助産過程の展開：事例まとめ				1 時間
15	分娩介助技術 ①：分娩介助の意義と原理	講義	川上	テキスト① 第 5 章を読み、D V D など参考に分娩介 助手順を理解しておく	1 時間
16	分娩介助技術 ②：分娩介助に伴う技術	講義	川上		1 時間
17	分娩介助娩助技術③：直接介助・間接介助・デモ ンストレーション	講義	川上	テキスト① 第 5 章を読み、D V D など参考に分娩介 助手順を理解しておく	1 時間
18	分娩介助技術 ④：出生直後の新生児のアセスメントと ケア・	講義 演習	井口	テキスト① 第 5 章の 5,6 を熟読しておく 出生直後の新生児への看護を新生児モデルを用いて 実践的に演習します。	1 時間

19	娩介助演習デモンストレーション： 分娩介助技術胎	講義	山下	テキスト① 第 5 章を読み、DVD など参考に分娩介 助手順を理解しておく	1 時間
20	分娩介助演習デモンストレーション： 胎児付属物の娩出，精査と計測，人工破膜	講義 実技	山下他	テキスト① 第 5 章を読み、DVD など参考に分娩介 助手順を理解しておく	1 時間
21	分娩の体位と介助法 フリースタイル分娩	講義 実技	寺田	テキスト① 第 5 章を読み、DVD など参考に分娩介 助手順を理解しておく	1 時間
22	児心拍モニタリングの判読、	講義	川上	テキスト① 第 5 章を読んでおく	1 時間
23	娩出力の異常とそのケア 分娩促進・誘発時のケア	講義	川上	テキスト① 第 5、6 章、②第 3 章 1,2 を読んでおく	1 時間
24	分娩介助技術演習①	実技	川上 浅野 野口他	テキスト① 第 5 章を読み、DVD など参考に分娩介 助手順を理解し、繰り返し練習をしておく	1 時間
25	分娩介助技術演習②				1 時間
26	分娩介助技術演習③				1 時間
27	分娩介助技術演習④				1 時間
28	分娩介助技術演習⑤				1 時間
29	分娩介助技術演習⑥				1 時間
30	分娩介助技術演習⑦ 会陰縫合術	講義・ 実技	下村		1 時間
成績評価方法・基準		① 筆記試験 80% ②課題レポート 5%，③ 実技 15%			
課題に対するフィードバック		課題は講義・実技中、または後日フィードバックします			
教科書		① 町浦美智子編集：助産師基礎教育テキスト，第 5 巻，日本看護協会出版会，最新版 ② 遠藤俊子編集：助産師基礎教育テキスト，第 7 巻，日本看護協会出版会，最新版 ③ 北川眞理子/内山和美：今日の助産 南江堂 最新版			
参考書・参考文献		我部山キヨ子，雄二編：助産診断・技術学Ⅱ〔2〕（助産学講座），分娩・産褥期，医学書院，最新版 日本助産学会編：エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期 2016 日本助産学会 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集：産科婦人科診療ガイドライン，2017 進純郎他、正常分娩助産術、医学書院、 細野茂春：新生児蘇生法テキスト，メディカルビュー，2018 講義中適宜示す			
オフィスワ 学習相談 メッセージ		川上 桂子 （2 号館 1 階 L219） ＊オフィスアワー：水曜日，16：30～18：00 ＊学習相談：上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時ご対応いたします。事前にご連絡ください。 ＊メッセージ：母子の安全を守り、ポジティブな出産となるようなケアの実践を目指して、その基本となる知識と技術を身につけましょ う。繰り返し自己研鑽に励んでください。			

開設科目名	助産診断技術学Ⅲ	科目コード	MWSA904	開設期	前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	45 時間	授業区分	講義・演習
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり 浅野美智留, 川上桂子、井口亜由 井上悠香里 寺田恵子他		
授業の概要（授業の目的）					
産褥期にある女性と新生児、およびその家族を身体・精神・社会的側面から全人的に理解し、より wellness な状態に導くために必要な概念や基礎知識、助産過程、基本的な助産技術について学修する。					
産褥期にある女性と新生児、およびその家族に必要な健康教育の基本理念と方法論について学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針との関連)	
1) 産褥期にある女性と新生児、およびその家族の身体的・心理的・社会的状態について理解できる。				◎1. 生命尊重とケアリング	
2) 産褥期にある女性と新生児に対し、助産診断のためのフィジカルアセスメント及び基本的な助産技術が実施できる。				2. 自然性を尊重したケア	
3) 産褥期にある女性と新生児、およびその家族の事例を用いて、より wellness な状態に導き、異常を早期発見するためのアセスメント、助産診断・計画の立案ができる。				◎3. ライフステージと健康	
4)産後の受胎調節に必要な知識を理解し、対象に適切な教育支援を理解できる。				◎4. 根拠に基づく実践	
				5. 主体性と自律	
				6. 多様な社会の理解	
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	産褥ケアの概念 産褥期にある女性の身体的状態 (産褥期とは、産褥期の身体的変化)	講義 GW	野口	教科書①産褥期のケア第 1 章、第 2 章の 1 を読み、その内容について教科書②などを参考にして理解しておく。	2 時間
2	産褥期にある女性の心理・社会的変化 (育児不安とマタニティブルース)	講義 GW	野口	教科書①産褥期のケア第 2 章の 2 を読み、その内容について教科書②などを参考にして理解しておく。	2 時間
3	産褥期にある女性へのケア (愛着形成を促進するケア、セルフケア能力を促進するケア)	講義 GW	野口	教科書①産褥期のケア第 3 章、第 5 章を読み、その内容について参考資料などを用いて理解しておく。	2 時間
4	産褥期にある女性と家族へのケア (親役割を支えるケア)	講義 GW	野口	教科書①産褥期のケア第 3 章、第 5 章を読み、その内容について参考資料などを用いて理解しておく。	2 時間
5	産褥期にある女性と家族へのケア	講義 GW	野口	適宜提示します	2 時間
6.	新生児のケア① 新生児の適応生理	講義	井口	教科書①新生児期・乳幼児期のケア第 1 章、第 2 章を読み、その内容について教科書②などを参考にして理解しておく。	2 時間
7	新生児のケア② 新生児のニーズとケア	講義	井口	教科書①新生児期・乳幼児期のケア第 1 章、第 2 章、4 章を読み、その内容について教科書②などを参考にして理解しておく。	2 時間
8	新生児のケア③ フィジカルイグザミネーション	講義 実技演習	井上	教科書①新生児期・乳幼児期のケア第 3 章、4 章を読み、その内容について教科書②などを参考にして理解しておく。	2 時間
9	新生児のケア④	講義 GW	野口他	教科書④DVD を視聴しておく	2 時間
10	母乳育児支援 児の母乳吸吮	講義 GW	浅野	教科書①母乳育児支援第 4 章・②該当箇所の精読	2 時間
11	母乳育児支援 乳汁生成Ⅰ期のケア	講義 GW	浅野	配布資料の復習	2 時間
12	母乳育児支援 乳汁生成Ⅱ期のケア	講義 GW	浅野	配布資料の復習	2 時間
13	母乳育児支援 BS ケア	講義 実技演習	寺田	資料を提示	2 時間
14	産褥期の健康教育① 退院指導 基本理解	講義 GW	野口他	教科書①産褥期のケア第 3 章、事前に提示した資料を読んで復習しておく。 授業の成果物を作成する。	2 時間
15	産褥期の健康教育① 退院指導 実際	講義 GW	野口	教科書①産褥期のケア第 3 章、事前に提示した資料を読んで復習しておく。 授業の成果物を作成する。	2 時間
16	産褥期の健康教育③ 沐浴指導 基本理解	講義 GW	野口 他	事前に提示した資料を読んで復習しておく。 授業の成果物を作成する。	2 時間
17	産褥期の健康教育④ 沐浴指導 実際	講義 GW	野口 他	事前に提示した資料を読んで復習しておく。 授業の成果物を作成する。	2 時間
18	産褥期の健康教育⑤ 家族計画 基本理解	講義 GW	野口 他	教科書①産褥期のケア第 6 章を読み、その内容について参考資料などを用いて理解しておく。 授業の成果物を作成する。	2 時間

19	産褥期の保健指導⑥	講義 GW	野口 他	適宜提示します	2 時間
20	産褥期のケア① 事例を用いた助産過程の立案	講義 GW	野口 他	教科書①②④の全体を読んで理解しておく。 授業の成果物を作成する。	2 時間
21	産褥期のケア② 事例を用いた助産過程の立案	講義 GW	野口 他	教科書①②④の全体を読んで理解しておく。 授業の成果物を作成する。	2 時間
22	産褥期のケア③ 事例を用いた助産過程の立案	講義 GW	野口	教科書①②④の全体を読んで理解しておく。 授業の成果物を作成する。	2 時間
23	産褥期のケア④ 事例を用いた助産過程の立案	講義 GW	野口 他	教科書①②④の全体を読んで理解しておく。 授業の成果物を作成する。	2 時間
成績評価方法・基準		定期試験 70% 復習テスト 10% 保健指導案・助産過程の最終成果物の提出 20%			
課題に対するフィードバック		演習でのグループ課題に対して、各教員よりコメントを受ける。			
教科書		①横尾京子編：産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア、助産師基礎教育テキスト第 6 巻、日本看護協会出版会、2020 ②井上裕美他監修：病気がみえる vol10 産科 メディックメディア、第 4 版 2019 ③中村幸代編：根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶ ウエルネス志向型ケア計画 南江堂 2018 ④平澤美恵子監修：写真でわかる助産技術アドバンス（DVD 付）インターメディカ 2016			
参考書・参考文献		北川真理子 今日の助産 改定第 4 版 南江堂 2019 日本助産学会編：エビデンスに基づく助産ガイドライン―妊娠期・分娩期・産褥期 2020 - 我部山キヨ子編：助産学講座 助産診断・技術学Ⅱ（2）分娩・産褥期、医学書院 横尾京子編：助産学講座 助産診断・技術学Ⅱ（3）新生児期・乳幼児期、医学書院			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー：火曜日 12：10～13：00 上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時対応いたします。 事前にメールにて、ご連絡ください。 連絡先：2 号館 1 階 L221 ※産褥期実習に必要な重要科目です。 エビデンスに裏付けられた知識と確かな技術の習得が求められます。 繰り返し自己学習およびグループ演習をしておきましょう。			

開設科目名	助産学研究Ⅰ	科目コード	MWSA905	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義・演習
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、桃井雅子、浅野美智留、川上桂子、片岡弥重子		
授業の概要（授業の目的）					
対象となる女性と家族に最善のケアを提供するうえで，“助産実践における根拠にもとづくケア”の意味と必要性について学ぶ。 助産実践における EBN および EBM（Evidence-based Nursing, Evidence-based Medicine）の基本となる考え方とステップ，活用方法を学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 対象に最善のケアを提供するうえで，“助産実践における根拠にもとづくケア”のための助産学研究の意義、系統的文献検索方法および実際研究方法について理解・考察できる。				1. 生命尊重とケアリング 2. 自然性を尊重したケア 3. ライフステージと健康 ◎4. 根拠に基づく実践 5. 主体性と自律 6. 多様な社会の理解	
2) 助産実践における Evidence-based Nursing および Evidence-based Medicine の基本となる考え方とステップ，活用方法を理解できる。					
3) 上記 2) をもとに研究論文のクリティークを試み，その過程を踏むことで，研究にもとづくエビデンスの吟味と適用の実際について理解（思考・判断）を深めることができる。					
4) 上記 1～3) をもとに課題テーマの目的にそって，エビデンスを引用しつつ，レポートの作成を行える。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス 研究とは？助産学研究とは？	講義	野口	予習：学部研究について振りまとめておく 復習：助産領域で何をあなたの“課題”とするか考える	2 時間
2	系統的文献検索	講義	桃井	予習：学部研究での文献検索について振りかえっておく 復習：系統的文献検索の復習	4 時間
3	助産学研究の実際	講義	浅野 川上	予習：助産領域で何をあなたの“課題”とするか考える 復習：講義をもとに自らの研究課題（仮）を考える	4 時間
4	助産実践における根拠にもとづくケアのために 【EBN・EBM の考え方とステップ，活用方法】 1. EBN・EBM の考え方，問題の定式化	講義・演習	片岡	予習：Web 課題資料を精読 復習：テキストおよび資料の復習	4 時間
5	2. 文献検索	講義・演習	片岡	予習：Web 課題資料を精読 復習：テキストおよび資料の復習	4 時間
6	3. エビデンスの吟味と適用	講義・演習	片岡	予習：Web 課題資料を精読 復習：テキストおよび資料の復習	4 時間
7	【エビデンスの吟味と適用】 1. 研究論文のクリティークについて	講義	片岡	予習：事前に配布する研究論文を精読 復習：講義をもとに研究論文を読み直す	4 時間
8	総括 助産領域で、今、何を明らかにしたいのか 具体的に自分の研究課題（仮）を見出す	講義	野口	予習：助産領域で何をあなたの今の“課題”とするかどのように定式化できるのか考えておく。 復習：授業の学びを統合整理し、自分の研究課題（仮）を見出し、課題について整理する。	4 時間
成績評価方法・基準		成績評価方法・基準は，①宿題・授業外レポート 60%，②授業態度・授業への参加度・受講者の発表（プレゼン）40%とする。 ＊レポートのテーマは出題の意図を説明し，Web クラスに提示します。			
課題に対するフィードバック		課題のフィードバックは，本科目の終了後に Web クラスにて行います。			
教科書		特に指定しない			
参考書・参考文献		参考文献 前原澄子訳：助産学研究入門－エビデンスにもとづく実践をめざして，医学書院 南 裕子 野嶋佐由美：看護における研究 第 2 版 日本看護研究出版会 講義中にも文献を紹介します。			
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他		＊ オフィスアワー：水曜日，12：10～13：10 ＊ L211， ＊ 学習相談：上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時ご対応いたします。事前にメールで予約をお取り願います。 ＊ メッセージ：科学的根拠に基づく助産実践を目ざして，研究によるエビデンスの確立のための方法を一緒に学びます。			

開設科目名	地域母子保健学	科目コード	MWSA906	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり 眞崎直子 清水知子		
授業の概要（授業の目的）					
地域における助産師の活動を展開するため、地域母子保健活動の目的・しくみを理解し、その活動の実際の事例（多職種との連携を含む）を通して教授する。特に、安心して産み育てることができる地域の基盤づくりについて考察を深められるよう教授する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) わが国の地域母子保健の意義、現状と動向について理解できる。			1. 生命尊重とケアリング		
2) わが国の母子保健活動及び助産業務を行う上で必要な母子保健行政が理解できる。			2. 自然性を尊重したケア		
3) わが国の母子保健制度・施策について理解ができる。			◎ 3. ライフステージと健康		
4) 助産師が行う地域母子保健活動の実際について理解できる。			4. 根拠に基づく実践		
5) わが国のウイメンズヘルス、母子保健上の課題を見出すための方法を説明できる。			5. 主体性と自立		
6) 久留米市での地域母子保健活動の実際と課題について考察し、企画案を作成できる。			◎ 6 多様な社会の理解		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習（学習課題）	取組時間
1	ガイダンス、地域母子保健の意義：地域の概念、母子保健の現状と動向・課題統計資料分析	講義	野口	予習：教科書① 第1・2章（p.2-35）を精読	2 時間
2	地域母子保健行政の体系①：わが国の母子保健行政 地域母子保健活動の意義	講義	眞崎	予習：教科書① 第3章（p.36-56）を精読	2 時間
3	地域母子保健行政の体系②：わが国の母子保健制度	講義	野口	予習：教科書① 第3章（p.57-77）を精読	2 時間
4	地域母子保健行政の体系③：母子保健施策 子育て支援活動企画案テーマ検討	講義 演習	野口	予習：教科書① 第3章（p.78-109）を精読 予習：教科書① 第4章（p.110-133）を精読	2 時間
5	地域母子保健活動の展開①：女性のライフサイクルへの支援、母子保健活動の展開の場と特徴、妊産婦訪問指導の理論と実際（久留米市の母子保健活動を含む）	講義	清水	予習：教科書① 第5章（p.134-161）を精読、	2 時間
6	地域母子保健活動の展開②：新生児・褥婦訪問指導の理論と実際（久留米市の母子保健活動を含む）	講義	清水	予習：教科書① 第5章（p.162-180）を精読、	2 時間
7	地域母子保健活動の展開③：地域組織活動、地域子育て支援活動、地域相談活動、災害時の地域母子保健活動（久留米市の母子保健活動を含む）	講義	清水	予習：教科書① 第5章（p.181-215）を精読	2 時間
8	地域母子保健活動演習 （子育て支援活動の企画・立案） まとめ	演習	野口	予習：企画案発表準備 復習：授業全体を振り返り、今後の課題を考察する。	2 時間
成績評価方法・基準		① 定期試験 80％、② 小テスト・授業内レポート 6％、③ 宿題・授業外レポート 6％ ④ 授業態度・授業への参加度・受講者の発表(プレゼン)3％、⑤ 演習 5％			
課題に対するフィードバック		課題に関しては出題意図を説明し、課題および発表時に総評を行い、模範解答を示す。小テストに関しては、解説を提示する。			
教科書		我部山キヨ子編：助産学講座 9、地域母子保健・国際母子保健、医学書院、2016			
参考書・参考文献		医学書院 e テキスト 助産学講座 成田伸編：助産師基礎教育テキスト3、周産期における医療の安全と質、日本看護協会出版会、2020 福井トシ子編 新版 助産師業務要覧、アドバンス編 2020 年度版 上記のほか適宜文献を紹介する			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ		・オフィスアワー：水曜日、12：10～13：10 ・連絡先：2 号館 1 階、L221、 yukari@stmaryac.jp.onmicrosoft.com ？ ・学習相談：上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時ご対応いたします。事前にメールでの確認をお願いします。 ・メッセージ：事前学習を必須とします。助産師として、地域における連携や地域で実践するための母子保健の現状・実践のあり方について学び考察しましょう。			

開設科目名	助産管理	科目コード	MWSA907	開設期	通年
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、川上桂子、堀内成子、斉藤由香、寺田恵子、上田孝子		
授業の概要（授業の目的）					
周産期医療におけるチーム医療の理念のもとに、対象の安全・安心・満足を支えるための助産管理の基本理念について教授する。 様々な助産活動の場（具体的には助産所、クリニック、病院産科）において助産施設管理者が行う助産管理の実際（事故防止、救急対応、災害看護に関するリスクマネジメント）について教授する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 周産期における母子とその家族の安心安全、満足を支えるためのシステムについて理解することが出来る。				◎ 1 ライフステージと健康 2 自然性の尊重 ◎ 5 主体性と自律	
2. 周産期医療におけるチーム医療の実際を理解することが出来る。					
3. 助産業務が行われる場の特性と、それに応じた助産業務管理の特徴について理解することができる。					
4. 妊産婦および子どもを育てる母親・家族の安心安全、満足を支えるための継続的な支援システムについて考察する事が出来る。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	周産期医療サービスにおける質の保証 1）助産業務管理	講義	斎藤	テキスト 第4章 病産院における助産業務管理 に目を通しておくこと	4 時間
2	Women-centered Care 我が国における助産管理の現状と課題	講義	堀内	テキスト 第1章 助産管理の基本を読み、予習しておくこと	4 時間
3	周産期医療における質と安全の保証	講義	堀内	講義時に課題提示予定	4 時間
4	リーダーシップ：起業・変革・改善①	講義	堀内	テキスト第5章 助産所における助産業務管理を読み、予習しておくこと。	4 時間
5	リーダーシップ：起業・変革・改善②	講義	堀内	講義時に課題提示予定	4 時間
6	助産師の活動と法的責任	講義	浅野	テキスト 第2章 関連法規と助産師の義務・責任を読み、予習しておくこと	4 時間
7	周産期における医療安全とリスクマネジメント	講義	浅野	テキスト 第2章 関連法規と助産師の義務・責任を読み、予習しておくこと	4 時間
8	周産期医療サービスにおける質の保証 2）助産業務管理 病棟管理	講義	斎藤	前回（第1回）の講義を復習しておくこと。	4 時間
9	周産期医療サービスにおける質の保証 3）周産期管理システムとリスクマネジメント	講義	斎藤	テキスト 第3章 周産期管理システムとリスクマネジメント に目を通しておくこと	4 時間
10	周産期医療サービスにおける質の保証 4）産科診療所における助産サービス管理の実際	講義	上田	テキスト 第4章 D 院内助産・院内助産院の管理 E 外来の助産管理 に目を通しておくこと、	4 時間
11	周産期医療サービスにおける質の保証 5）助産所における助産サービス管理の実際	講義	寺田	テキスト第5章 助産所における助産業務管理を読み、予習しておくこと。	4 時間
12	周産期医療サービスにおける質の保証 6）助産師の活動範囲のひろがりと展望	講義	寺田	講義時に課題提示予定	4 時間
13	災害時の助産管理	講義	川上	講義時に課題提示予定	4 時間
14	MFICU における助産管理	講義	浅野	講義時に資料提示予定	4 時間
15	周産期における看護・助産業務管理 1)関連法規と助産師の義務・責任	講義	浅野	テキスト 第2章 関連法規と助産師の義務・責任を読み、予習しておくこと	4 時間
成績評価方法・基準		試験 60%、課題レポート 30%、講義参加態度 10%			
課題に対するフィードバック		課題に対して、講義担当者より総評を行う。			
教科書		我部山キヨ子、毛利多恵子編（最新版）：助産管理,医学書院,東京.			
参考書・参考文献		福井トシ子編 [新版]助産師業務要覧 I 基礎編 日本看護協会出版会 福井トシ子編 [新版]助産師業務要覧 II 実践編 日本看護協会出版会			
オフィスワーカー・学習相談 メッセージ・その他		浅野美智留 水曜日 12:10～13:10 連絡先：7 号館 2 階 L 723 メールアドレス:asano@stmaryacjp.onmicrosoft.com オフィスワーカーには、自由にドアをたたいてください。それ以外の時間帯はメールで予約を入れてください。			

開設科目名	助産学実習Ⅰ（導入実習）	科目コード	MWSA908	開設期	前期
単位数（履修区分）	4 単位（必修）	時間数	180 時間	授業区分	実習
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、野口ゆかり、川上桂子、桃井雅子、井口亜由、他		
授業の概要（授業の目的）					
妊婦・産婦・褥婦を全人的に捉え、正常分娩を中心とした助産実践を系統的に行う。助産診断学・技術学等の既習学習を基に、助産過程を展開するために必要な知識・技術・態度を修得する。					
妊娠・分娩・産褥期にある対象者とその家族の身体的・心理社会的健康状態と、胎児・新生児の成長発達および健康状態について、指導者の助言に基づき基本的臨床判断に基づいた助産過程を修得する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 産婦の情報から基本的な分娩時期診断、分娩進行経過の予測と課題を明確にする姿勢づくりができる。				◎ 1 生命尊重とケアリング 2 自然性を尊重したケア 3 ライフステージと健康 ◎ 4 根拠に基づく実践 5 主体性と自律 6 多様な社会の理解	
2) 産婦およびその家族の身体的・心理社会的基本的ニーズを充足するケアを計画、実施できる。					
3) 指導者のアドバイスを基に、基本的な分娩助産技術を用いて、会陰保護、第 1 呼吸の助成、胎盤娩出処置、臍帯処置、等が実施できる。					
4) 指導者の助言を得ながら、対象者の特性に応じた助産ケアについて考察することができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	助産学実習要領参照 1～2 例の分娩助産の段階にあり、分娩期・産褥期における基本的な助産過程を展開する。教員と共に助産過程を振り返り、対象者中心の助産過程について考察する。 ①分娩期助産過程の展開 情報収集 分娩時期診断、分娩経過診断 助産ケア計画・実施・介入 ②産褥期退院までの母子のケア計画・実施・評価	実習	浅野 野口 川上 桃井 井口 他	実習要領を熟読しておく 前期の講義内容を復習しておく	
成績評価方法・基準		助産学実習評価に基づき評価する 100%			
課題に対するフィードバック		この科目は教員から常にタイムリーにフィードバックしますが、お互いのフィードバックが必要な学修となります。			
教科書		助産師基礎教育テキスト 第4・5・6 巻 日本看護協会 北川真理子他（最新版）：今日の助産,南江堂.			
参考書・参考文献		日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集 産科婦人科診療ガイドライン 2017 井上裕美他監修 病気がみえる 10 産科 メディックメディア その他、講義・演習で使用・紹介したテキストおよび資料、視聴覚教材			
ワイアラー 学習相談 メッセージ その他		浅野美智留 水曜日 12:10～13:10 ワイアラーには、自由にドアをたたいてください。それ以外の時間帯はメールで予約を入れてください。 連絡先：7 号館 L723 メールアドレス:asano@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ：助産学のコアとなる学修時間になります。しかし分娩助産だけに目配り・気配りするのではなく、胎児も含めたご家族へのケアリングをコアに据えて、豊かな経験をスタートさせてください。			

開設科目名	助産学実習Ⅱ（発展実習）	科目コード	MWSA909	開設期	通年
単位数（履修区分）	5単位（必修）	時間数	225 時間	授業区分	実習
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、野口ゆかり、川上桂子、桃井雅子、井口亜由、他		
授業の概要（授業の目的）					
助産学実習Ⅰで習得した基礎的知識・技術を統合・発展させ、助産過程の展開を行う。その過程を通して助産師の 役割や責務を自覚し、助産師としての自立性・自律性を高められるよう学修する。主に分娩介助をした女性とその家族を対象として、対象者の特性に応じた健康教育および家族計画が実施できるよう学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 妊娠・分娩・産褥期にある対象者とその家族の身体的心理社会的健康状態、胎児・新生児の成長発達および健康状態について、的確な臨床判断に基づいた助産過程を展開できる。 1) 産婦の情報から分娩時期診断、分娩進行経過を予測することができる。 2) 産婦およびその家族の身体的・心理社会的基本的ニーズを充足するケアを計画、実施できる。 3) 分娩介助技術を用いて、会陰保護、第1呼吸の助成、胎盤娩出処置、臍帯処置、等が実施できる。 4) 対象者の特性に応じた助産ケアについて考察し、自らの助産ケアを内省することができる。 5) 対象者の特性に応じた助産ケアについて考察し、自らの助産ケアを内省することができる。 6) 乳房の生理的变化、新生児の状態に合わせて適切な母乳育児支援を立案し、実施・評価できる。				◎ 1 生命尊重とケアリング ◎ 2 自然性を尊重したケア 3 ライフステージと健康 ◎ 4 根拠に基づく実践 ◎ 5 主体性と自律 6 多様な社会の理解	
2. 相談・教育・ケア技術を用いて、継続的で対象の個性性を尊重した安全・安楽なケアを実践できる。					
3. 妊娠・分娩・産褥期に発生する異常の予防、早期発見、緊急対応について実践を通して考察する。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	発展実習（5週間） 【前半】 3～6例目の分娩介助の段階にあり、分娩期における助産過程を発展的に展開する 1) 助産過程の展開（発展的な知識・技術の習得） 情報収集（分娩の4要素） 分娩時期診断、分娩経過診断 助産ケア計画・実施・評価 産婦への個別的ケア 2) 退院までのケア計画・実施・評価 3) 健康教育の実施・評価（退院指導、沐浴指導等） 【後半】 7～10例目の分娩介助の段階にあり、分娩期における助産過程を応用的・自立的に展開する	実習	浅野 野口 川上 桃井 井口 他	前期の講義内容を復習 ケースの振り返りを確実に行う	
成績評価方法・基準		助産学実習評価に基づき評価する 100%			
課題に対するフィードバック		この科目は教員から常にタイムリーにフィードバックしますが、お互いのフィードバックが必要な学修となります。			
教科書		① 助産師基礎教育テキスト 第4・5・6巻 日本看護協会 ② 北川眞理子他（最新版）：今日の助産,南江堂.			
参考書・参考文献		日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集 産科婦人科診療ガイドライン 2017 井上裕美他監修 病気がみえる 10 産科 メディックメディア その他、講義・演習で使用・紹介したテキストおよび資料、視聴覚教材			
オフィス学習相談メッセージその他		浅野美智留：水曜日 12:10～13:10 オフィスには、自由にドアをたたいてください。それ以外の時間帯はメールで予約を入れてください。 連絡先：7号館 L723 メールアドレス:asano@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ：助産学のコアとなる学修ですが、技術偏重にならないよう、分娩介助をさせていただくことへの感謝や畏敬の念を育んでください。命の誕生に真摯に向き合い、責任を持てるために、自分を育てさせてもらう姿勢で実習をしてください。			

開設科目名	助産学実習Ⅲ(継続事例実習)	科目コード	MWSA910	開設期	通年
単位数(履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	45 時間	授業区分	実習
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子、浅野美智留、野口ゆかり他		
授業の概要(授業の目的)					
妊娠期から産褥 1 か月までの女性と胎児・新生児およびその家族を継続的に受け持ち、個別性の高い助産過程の展開を通して、継続的な助産ケアに必要な知識・技術・態度を学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 対象となる女性と胎児・新生児およびその家族の各時期に応じた身体的・心理的・社会的状態を理解することができる。			◎1 生命尊重とケアリング		
2) 対象となる女性およびその家族に対し真摯に向き合い信頼関係を構築することができる。			2 自然性を尊重したケア		
3) 対象のニーズを重視したエビデンスに基づくアセスメント、助産計画立案、実施、評価ができる。			◎3 ライフステージと健康		
4) 必要な予防的健康教育(家族計画を含む)を計画・実施・評価できる。			4 根拠に基づく実践		
5) 医療・保健スタッフと連携し、主体的に実践できる。			◎5 主体性と自律性		
6) 対象となる女性およびその家族との関わりを通して、助産師としての役割、責任、課題、可能性について考察を深めることができる。			6 多様な社会の理解		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	1) 受け持ちとなる対象の選定 2) 各時期に応じた助産過程の展開 各妊娠時期に応じた妊婦健康診査の実施 分娩介助とその後のケア 産褥期ケア 新生児へのケア 家庭訪問の実施 1 か月健康診査の実施または見学 3) 各妊娠時期に応じた健康教育の実施 4) ふりかえり	実習Ⅰ	川上 浅野、 野口、 桃井他	講義・教科書①～⑦や参考資料を復習しておく。 その他にも自主的に文献などを参考に学習しておく。	
成績評価方法・基準		助産実習評価表(100%)に基づき評価する			
課題に対するフィードバック		実習中・実習終了時に、個別に口頭又は、実習記録上で、フィードバックを行う。			
教科書		我部山キヨ子,武谷雄二編,： 基礎助産学〔1〕助産学概論、医学書院 最新版 森恵美編：妊娠期の診断とケア、助産師基礎教育テキスト第4巻、日本看護協会出版会、最新版 町浦美智子編：分娩期の診断とケア、助産師基礎教育テキスト第5巻、日本看護協会出版会、最新版 横尾京子編：産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア、助産師基礎教育テキスト第6巻、日本看護協会出版会、最新版 遠藤俊子編：ハイリスク妊産婦・新生児のケア、助産師基礎教育テキスト第7巻、日本看護協会出版会、最新版			
参考書・参考文献		井上裕美他監修：病気がみえる vol10 産科 メディックメディア、最新版 井上裕美他監修：病気がみえる vol9 婦人科・乳腺外科 メディックメディア、最新版 日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン産科編、日本産婦人科学会、最新版			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ		川上 桂子 (2 号館 1 階 L219) * オフィスアワー：水曜日, 16：30～18：00 * 学習相談：上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時ご対応いたします。事前にご連絡ください。 * メッセージ：継続事例実習は、一人の女性を妊娠期から 1 か月健診まで継続して受持たせて頂き助産過程を展開します。対象者を尊重し、真摯に向き合い、対象者への理解を深めましょう。 継続して寄り添うとはどういうかが見えてくると思います。			

開設科目名	助産学実習Ⅳ（健康教育実習）	科目コード	MWSA911	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	45 時間	授業区分	実習
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、浅野美智留、川上桂子、他		
授業の概要（授業の目的）					
リプロダクティブヘルス／ライツに関わる助産師として、各ライフステージにある対象者や対象集団に対し、健康ニーズを踏まえた集団教育を実践できるよう学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 各ライフステージにある対象者や対象集団の健康課題・健康ニーズを理解することができる。			1. 生命尊重とケアリング 2. 自然性を尊重したケア ◎3. ライフステージと健康 4. 根拠に基づく実践 5. 主体性と自律性 ◎6. 多様な社会の理解		
2) 健康教育の理論と特徴について理解することができる。					
3) 根拠に基づいた効果的な指導法とコミュニケーション技術を選択し、教育計画を作成できる。					
4) 医療・保健スタッフと連携し、主体的に企画、運営、実践できる。					
5) グループ内で、他者を尊重し、教育案を協働して作り上げ実践できる。					
6) リプロダクティブヘルス／ライツに関わる助産師としての役割、責任、課題、可能性について考察を深めることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	1) 健康教育の種別の選定 2) 対象者または対象集団の健康課題・健康ニーズの理解 3) 健康教育計画の立案 指導案作成 4) 健康教育実施のための準備 媒体作成 リハーサル 会場準備 5) 健康教育の実施 6) 振り返り	実習	野口 浅野 川上 他	実習要領を熟読 参考資料を適宜提示 その他にも自主的に文献などを参考に学習	
成績評価方法・基準	健康教育の実施内容 50%，健康教育の計画案の内容 40%，態度や参加度 10% 助産実習評価表に基づき評価				
課題に対するフィードバック	フィードバックの方法：計画立案、実施において教員および臨床指導者からコメントをします。				
教科書	適宜紹介します				
参考書・参考文献	堀内成子編：助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ，医学書院 最新版				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10 上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時対応いたします。 事前にメールにて、ご連絡ください。 連絡先：2 号館 1 階 L 221				

開設科目名	助産学実習Ⅴ（ハイリスク実習）	科目コード	MWSA912	開設期	後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	45 時間	授業区分	実習
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、浅野美智留、川上桂子、井口亜由、他		
授業の概要（授業の目的）					
ハイリスク妊娠／ハイリスク分娩の女性と胎児・新生児およびその家族を受け持ち、産科学・助産学におけるエビデンスに基づいた科学的・応用的な助産過程を展開する。その過程をとして人間の尊厳と生命倫理的な視野に立った考察ができるよう学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) ハイリスク妊婦／ハイリスク産婦・褥婦・胎児・新生児およびその家族の心理的・精神的・社会的側面における情報が収集できる。			◎1. 生命尊重とケアリング 2. 自然性を尊重したケア 3. ライフステージと健康 ◎4. 根拠に基づく実践 5. 主体性と自律性 ◎6. 多様な社会の理解		
2) 対象者のニーズを重視し、エビデンスに基づく科学的・応用的なアセスメント、助産診断、計画立案、実施、評価ができる。					
3) NICU の特徴、入院している子どもと家族への看護について修得できる。					
4) 医療・保健スタッフと連携し、主体的に実習に参加できる。					
5) 対象者の尊厳を遵守し、QOL を高める助産ケアについて振り返りができる。					
6) 対象となる女性およびその家族との関わりを通して、助産師としての役割、責任、課題、可能性について考察を深めることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	1) MFICU におけるハイリスク妊婦／ハイリスク産婦・褥婦・胎児に対する助産過程の展開 2) NICU におけるハイリスク新生児に対するケアの見学 3) カンファレンス	実習	野口 浅野 川上 井口 他	実習要領を熟読しておく。 再度教科書①～⑨や参考資料を復習しておく。 その他にも自主的に文献などを参考に学習しておく。	
成績評価方法・基準		助産実習評価表に基づき評価する			
課題に対するフィードバック		実習現場において臨地指導者および教員から常にタイムリーにフィードバックします。 助産実践・ケアに対するフィードバックを重視します。			
教科書		①我部山キヨ子、毛利多恵子編：助産管理,医学書院,東京. 2020 年版 ②遠藤俊子編：ハイリスク妊産褥婦・新生児のケア、助産師基礎教育テキスト第7巻、日本看護協会出版会、2020 年版 ③井上裕美他監修：病気がみえる vol10 第4版 産科 メディックメディア、最新版			
参考書・参考文献		北川真理子 今日の助産 改定第4版 南江堂 2019 日本助産実践能力推進協議会 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）にもとづいた助産実践能力育成のための教育プログラム 医学書院 2015			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10 上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時対応いたします。 事前にメールにて、ご連絡ください。 連絡先：2号館 1 階 L221 ※ハイリスク実習は、非常に高度なエビデンスに基づいた知識と科学的・応用的な思考、確かな技術が求められます。また対象の方の尊厳を遵守した真摯な態度が重要です。自己研鑽に励んでください。			

開設科目名	助産学実習Ⅵ	科目コード	MWSA913	開設期	後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	45 時間	授業区分	実習
責任者	川上桂子	担当者	川上桂子、浅野美智留、野口ゆかり、桃井雅子他		
授業の概要（授業の目的）					
地域において助産師が実践している母子保健活動に参画し、地域で生活する女性とその家族を対象とした QOL を高める支援を学修する。また、地域母子保健における助産師の役割・責任（地域との連携・協働）について学修し、考察できる。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 地域における助産師の母子保健活動へ参画（ニーズのアセスメント、計画立案、実施、評価等）できる			1. 生命尊重とケアリング		
2. 女性とその家族の QOL を高める支援について考察できる			2. 自然性を尊重しケア		
3. 地域で活動する助産師の母乳ケア・健康相談を見学し、母子とその家族に対する支援について考察できる			◎ 3. ライフステージと健康		
4. 地域で活動する助産師の母子保健に関する教育活動に参画し、地域で果たす助産師の役割について考察できる			4. 根拠に基づく実践		
			◎ 5. 主体性と自律		
			◎ 6. 多様な社会の理解		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	実習要領参照 【実習の展開】 1）地域で活動する助産師の母乳ケア、健康相談、その他の教育活動に参画する 2）自らテーマを選択し、実際の母子支援活動について考察しレポートにまとめる。	実習	川上、浅野、野口、桃井他	実習前に各実習先より課題が提示される教科書・を予習・復習しておく	
成績評価方法・基準		助産実習評価表（100％）に基づき評価する。			
課題に対するフィードバック		実習中、実習終了後に個別に、フィードバックします			
教科書		助産学講座 1・3 医学書院，最新版 助産師基礎教育テキスト 第 4・5・6 巻 日本看護協会出版会 最新版			
参考書・参考文献		講義・演習で使用・紹介したテキスト及び資料 実習先からの提示された参考書			
ワイアワー 学習相談 メッセージ		川上 桂子 （2 号館 1 階 L219） ＊オフィスアワー：水曜日, 16：30～18：00 ＊学習相談：上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時ご対応いたします。事前にご連絡ください。 ＊メッセージ：退院後の母子が生活の場でどのように過ごされているのかを知る機会になります。また、地域における助産師の活動・役割について学びを深める貴重な実習です。自己の目標をしっかりと立て実習に臨みましょう。			

開設科目名	助産学研究Ⅱ	科目コード	MWSA914	開設期	通年	
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義	
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、浅野美智留、川上桂子			
授業の概要（授業の目的）						
助産学研究Ⅰで学習した理論や根拠（Evidenced-based Midwifery）に基づいて、自らの臨床の疑問を明らかにし、研究課題として発展させるとともに、研究成果を実践に適用するための基礎的な研究能力を養う 助産学に広く関連した課題について、研究を計画・実施し、レポートにまとめる過程を通し、助産師活動全般における Evidenced-based Practice の考え方の基盤を構築する						
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）研究のプロセスに則り、助産実践の基盤構築につながる研究テーマの選定・過程を展開できる。				1）生命尊重とケアリング 4）根拠に基づく実践 5）主体性と自律		
2）対象者の人権を尊重し、倫理的配慮の本に研究が実践できる。						
3）研究で得られた知見を、今後の助産ケアに活用できるよう考察できる。						
4）研究をレポートにまとめ、発表することができる。						
5）研究発表会において、他者の意見を聞き、自・他の研究成果を考察・評価できる。						
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）						
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間	
1	研究のプロセスについて 研究テーマの選定	講義	野口	予習：テキストを読んでおく。助産学研究Ⅰでの学びから、みずからの研究のプロセス・研究課題について案を考えておく 復習：演習を振り返り、研究テーマ Research Question について整理する。	2 時間	
2	研究計画書の書き方	講義	野口	予習：テキストを読んでおく 復習：演習を振り返り、研究計画書案を整理する	2 時間	
3	文献のクリティーク① プレゼンテーション・ディスカッション	SW	野口 浅野 川上	予習：自らの研究テーマに沿った研究論文を検索・選択し、吟味したものを準備 復習：授業中のディスカッションを基に整理・考察を深める	2 時間	
4		SW			2 時間	
5		SW			2 時間	
6	研究テーマ・研究計画発表	SW		担当教員のもとで個人もしくはグループで研究計画立案・研究実施・課題レポートを作成する	2 時間	
7		SW			2 時間	
8		SW			2 時間	
9	研究実施	SW			2 時間	
10					2 時間	
11					2 時間	
12	論文・研究レポート作成	SW			2 時間	
13		SW			2 時間	
14	研究発表	発表		予習：発表・資料の準備を行う 復習：討議での意見をもとに整理する。	2 時間	
15		発表			2 時間	
成績評価方法・基準		研究プロセス 70% 論文・課題研究レポートの完成 20% 出席・態度・プレゼンテーション 10%				
課題に対するフィードバック		研究発表会でフィードバックします。				
教科書		特に指定なし				
参考書・参考文献		スー・プロクター他 編集：助産学研究入門 エビデンスに基づく実践をめざして 医学書院 2003 南 裕子：看護における研究 日本看護協会出版会 2010 講義内で、適宜文献を提示します。				
ｵﾝﾗｲﾝ学習相談 メッセージ その他		野口ゆかり（2 号館 1 階, 217 研究室），ｵﾝﾗｲﾝ：金曜日 16：30～18：00 可能な時間であれば随時対応いたします。事前にご連絡ください。担当教員と時間調整を行い研究を進めていきましょう。				

開設科目名	周産期ハイリスクケア	科目コード	MWSA915	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	野口ゆかり	担当者	野口ゆかり、堀 大蔵、下村卓也、田中佳代、峰原奈緒子 浅野美智留、川上柱子		
授業の概要（授業の目的）					
異常妊娠・分娩・産褥への対応に必要な診断を学び、ハイリスク状態にある母児へのケアについて学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）妊娠・分娩・産褥合併症の診断と治療に関する基礎知識を習得し説明できる。			4）根拠に基づく実践		
2）基礎的知識を応用し、妊娠・分娩・産褥合併症に関する看護について説明できる。					
3）特定の問題を有する周産期事例に対する母児と家族への看護について考察する					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	周産期医療の動向とハイリスク妊産婦管理の課題	講義	堀	テキスト①第 1 章を読んでおく	1 時間
2	妊娠期の異常 診断と治療① 切迫流産、PIH、多胎妊娠、合併妊娠 他	講義	堀	テキスト①第 2 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
3	妊娠期の異常 診断と治療② 前置胎盤、常位胎盤早期剥離、胎児付属物異常 他	講義	下村	テキスト①第 2 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
4	分娩期の異常 診断と治療① 分娩 3 要素の異常	講義	堀	テキスト①第 3 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
5	分娩期の異常 診断と治療② 分娩時緊急対応	講義	下村	テキスト①第 3 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
6	分娩・産褥の異常 診断と治療 産科ショック、子宮復古不全 他	講義	堀	テキスト①第 4 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
7	妊娠期の異常とケア① 切迫流産、PIH、多胎妊娠、合併妊娠のケア	講義	浅野	テキスト①第 2 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
8	妊娠期の異常とケア② 前置胎盤、常位胎盤早期剥離、胎児付属物異常のケア	講義	浅野	テキスト①第 2 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
9	妊娠期の異常とケア③ 糖尿病合併妊娠・妊娠糖尿病妊婦のケア	講義	田中	テキスト①第 2 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
10	分娩期の異常とケア① 分娩 3 要素の異常のケア	講義	川上	テキスト①第 3 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
11	分娩期の異常とケア② 帝王切開、吸引分娩時のケア	講義	川上	テキスト①第 3 章を読んでおく ②を参考に理解しておく。配布資料の復習	1 時間
12	分娩・産褥期の異常とケア 産科出血、子宮復古不全時のケア	講義	野口	テキスト①第 5 章をよんでおくこと	1 時間
13	産褥期の異常とケア	講義	野口	テキスト①第 4・6 章をよんでおくこと 配布資料の復習	1 時間
14	ハイリスク新生児の母乳育児支援	講義	浅野	テキスト①第 5 章 6 を読んでおくこと 配布資料の復習	1 時間
15	心理社会的ハイリスク妊産婦と家族への看護	講義	峰原	テキスト①第 4・6 章をよんでおくこと 配布資料の復習	1 時間
成績評価方法・基準	定期試験 90%、課題・講義への参加度 10%				
課題に対するフィードバック	非常勤講師の講義の後、復習をしてわからなかった箇所は質問を受けます。				
教科書	①遠藤俊子編集 助産師基礎教育テキスト 第 7 巻 日本看護協会出版会 ②井上裕美他監修 病気がみえる 10 産科 メディックメディア				
参考書・参考文献	日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集 産科婦人科診療ガイドライン 2017 他 適宜文献を紹介します				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ	オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10 上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時対応いたします。事前にメールにて、ご連絡ください。 連絡先：2 号館 1 階 L 221 非常勤講師の講義時は、講義終了後、教室で質問等受け付けます。				

開設科目名	胎児・新生児助産学	科目コード	MWSA916	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、下村卓也、前野泰樹、橋本武夫、井上悠香里 井口亜由 他		
授業の概要（授業の目的）					
胎児管理を中心とした周産期医療の実際およびハイリスク新生児の概念、新生児の疾病や異常へのケアについて学ぶ。 新生児ケアの倫理や、ハイリスク新生児の家族へのケアについて学ぶ。また乳幼児の健康状態および発育・発達を診断するのに必要な知識と技術について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 胎児の健康状態の診断に関する基礎知識について説明できる。			◎ 1 生命尊重とケアリング 3 ライフステージと健康 ◎ 4 根拠に基づく実践		
2) ハイリスク新生児の疾病や異常への対応に必要な基礎知識について説明できる。					
3) ハイリスク新生児とその家族の生理的、心理社会的アセスメントとケアについて説明できる。					
4) 新生児ケアの倫理的課題と今後の展望について考察できる。					
5) 乳幼児の健康状態および発育・発達を診断するのに必要な知識について理解できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	胎児の成長と発達① 胎児の成長と発育評価	講義	下村	テキスト②第 2 章を読んでおくこと	1 時間
2	胎児の成長と発達② 胎児の健康状態の評価	講義	下村	テキスト②第 2 章を読んでおくこと	1 時間
3	胎児の成長と発達③ 胎児の力	講義	浅野	講義内で資料を提示する。配布資料の復習	1 時間
4	新生児期の逸脱に対する母児と家族へのケア① 新生児へのケアの考え方、家族への支援、呼吸器	講義 演習	井口	テキスト④の新生児医学の特徴(P7～)と母子関係と家族の支援(P85～)を読んでおくこと。	1 時間
5	新生児期の逸脱に対する母児と家族へのケア② 循環器	講義 演習	井口	テキストや文献や今までの学習を活用し、第 4 回の講義までに適応生理や病態生理を復習し	1 時間
6	新生児期の逸脱に対する母児と家族へのケア③ 肝臓・新生児黄疸	講義 演習	井口	理解しておくこと。	1 時間
7	新生児期の逸脱に対する母児と家族へのケア④ 糖代謝、水・電解質、免疫	講義 演習	井口	上記の講義を基に、グループワークにて家族へのケアと説明を考え、ロールプレイを実施する。	1 時間
8	新生児医療の歴史 ディベロップメンタルケア、Skin to Skin Contact、タッチケアほか	講義	橋本		1 時間
9	ハイリスク新生児の主要な病態と治療① 呼吸器・循環器系の発達と障害	講義	前野	テキスト①第 5 章を読んでおくこと ④⑤を参考に理解しておく 配布資料の復習	1 時間
10	ハイリスク新生児の主要な病態と治療② 黄疸、痙攣、低血糖、感染症 他	講義	前野	テキスト①第 5 章を読んでおくこと ④⑤を参考に理解しておく 配布資料の復習	1 時間
11	ハイリスク新生児の主要な病態と治療③ 先天性心疾患、新生児外科疾患 他	講義	前野	テキスト①第 5 章を読んでおくこと ④⑤を参考に理解しておく 配布資料の復習	1 時間
12	NICU とハイリスク新生児のケア② 体温、呼吸循環管理、栄養管理、感染予防、PVL、脳出血ほか	講義	井上	テキスト①第 5 章を読んでおくこと ④を参考に理解しておく 配布資料の復習	1 時間
13	NICU とハイリスク新生児のケア③ 新生児の保育環境を整える 神経行動学的発達を助けるケア	講義	井上	テキスト①第 5 章を読んでおくこと ④を参考に理解しておく 配布資料の復習	1 時間
14	NICU とハイリスク新生児のケア④ 治療・看護内容の理解と意思決定への支援 早産児・超低出生体重児のケア	講義	井上	テキスト①第 5 章を読んでおくこと ④を参考に理解しておく 配布資料の復習	1 時間
15	子どもを亡くした親・家族の喪失体験からみた母親と家族への看護 周産期におけるグリーフケア	講義	浅野	テキスト①第 6 章をよんでおくこと 配布資料の復習 レポートを提出する。	1 時間
成績評価方法・基準		定期試験 80%、レポート 5%課題・講義への参加度 15%			
課題に対するフィードバック		テキスト予習と配布資料の復習が課題であり、講義をオムニバス形式で担当しますので、講義中、あるいは講義後に質問を受けることで、フィードバックをします。			

教科書	① 小林康江編（最新号）：助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア,日本看護協会出版会,東京. ② 森 恵美編（最新号）：助産師基礎教育テキスト第4巻 妊娠期の診断とケア,日本看護協会出版会,東京 ③ 横尾京子編（最新号）：助産師基礎教育テキスト第6巻 産褥期のケア,新生児期・乳幼児期のケア,日本看護協会出版会,東京 ④ 仁志田博司（最新号） 新生児学入門 第4版 医学書院,東京. ⑤ 田村正徳（最新号）： 新生児蘇生法テキストメジカルビュー,東京.
参考書・参考文献	井上裕美他監修（最新号）： 病気がみえる 10 産科 メディックメディア 藤森敬也 胎児心拍数モニタリング講座 改訂2版 メディカ出版 三木成夫 胎児の世界 三木成夫：生命リズム
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	浅野美智留 水曜日 12:10～13:10 連絡先：7号館2階 L723 メールアドレス:asano@stmaryacjp.onmicrosoft.com メッセージ：各講義で深めたい事や質問は、各講義の後に、各講義担当教員にお尋ねください。 あるいは担当教員に、科目責任者から各講義担当者に連絡を取ります。

開設科目名	国際助産論	科目コード	MWSA917	開設期	通年
単位数（履修区分）	1 単位（ 自由 ）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	川上 桂子	担当者	川上桂子、浅野美智留、野口ゆかり、秦野環、近藤潤子		
授業の概要（授業の目的）					
国内外に存在する、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関連した国際保健・医療・福祉上の課題とその対策について教授する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 世界のリプロダクティブ・ヘルス/ライツ上の問題と母子保健医療の状況を理解する。			5.自主性と自律 6 多様な社会の理解		
2. 世界各国における文化や慣習について理解を深め、それらが人々の健康に与える影響をリプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点から理解する。					
3. 世界の母子保健活動から助産の普遍性について考察できる。					
4. 母子保健の専門職としてどのように助産の国際的な連携・協力ができるかを考察できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	国際化社会と母子保健・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 助産の国際的な概念・助産の普遍性	講義	川上 浅野	予習：「原身体経験」の資料を読み、意見や疑問点を整理しておく。 復習：自己の課題や疑問点を明らかにしておく。	4 時間
2	世界の母子保健関連の概要の変遷 国際社会における助産師の活動 助産師の国際機関と組織活動	講義	近藤	復習：講義内容	4 時間
3	世界の母子保健の概要 SDGS のビジョン、-妊産婦死亡率 -世界の妊産婦の死因、-5 歳未満児死亡率 -乳児死亡率、-世界の 5 歳未満児・新生児の死因	講義	近藤	復習：講義内容	4 時間
4	助産師のコアコンピテンシー、skill、教育 世界の子育て支援施策	講義	浅野	今までの講義を発展的に考察する課題を Web Class に示す。	4 時間
5	在日外国人の母子保健 海外在住日本人の母子保健	講義	秦野	適宜、課題を示す	4 時間
6	母子保健分野の協力事例 モンゴル助産師会との交流から	講義	野口		4 時間
7	ICA 母子保健活動の取り組み 「お産のヒューマニゼーション」	講義	川上	適宜、課題を示す	4 時間
8	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの課題と助産の専門性の向上	講義 討議	川上 浅野	講義中にディスカッション方式にて、助産の専門性・普遍性について検討し、Web Class に自分の考えをまとめる。	4 時間
成績評価方法・基準		課題レポート 50%、定期試験 50%			
課題に対するフィードバック		上記課題については、以下のとおりフィードバックします。 課題の意図の説明を講義中に行う、または後日掲示等する			
教科書		我部山キヨ子編 助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健 医学書院 最新版			
参考書・参考文献		工藤美子編 助産師基礎教育テキスト第 1 巻 助産概論 日本看護協会出版会 最新版 三砂ちづる コミットメントの力 NTT 出版 2007			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		川上桂子（2 号館 1 階 L219） ＊オフィスアワー：水曜日、16：30～18：00 ＊学習相談：上記時間帯以外にも可能な時間であれば随時ご対応いたします。事前にご連絡ください。 ＊メッセージ：出産は、生理的で普遍的で自然な営みです。日本の助産の知恵と技が、「人間的なお産」として、国際協力の母子保健活動の現場で広がりをみせています。世界に目を向けて、助産の普遍性を一緒に考えましょう。			

開設科目名	Practical English（実践英語）	科目コード	MWSA918	開設期	前期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要（授業の目的）					
Students will learn basic English communication skills that will prepare them for midwifery activities around the world.					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) Students will be able to discuss topics related to international midwifery.			11 多様な価値を尊重する姿勢		
2) Students will be able to give presentations in English.			6 コミュニケーションスキル(語学)		
3) Students will be able to prepare for midwifery activities in English.			5 問題解決判断力		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Course introduction & English review	講義	FORTIN	Bring motivation	1 時間
2	Maternity clinic, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
3	34 weeks later, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
4	In the labor room, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
5	After the delivery, vocab; Article discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
6	Day of discharge, vocab; Final discussion	講義	FORTIN	Review & Article selection	2 時間
7	Role play activities, Review, & Presentation practice	講義	FORTIN	Review & Preliminary Presentation Preparation	2 時間
8	Final Presentations	講義	FORTIN	Presentation Preparation	4 時間
成績評価方法・基準		Presentation: 80%; Class participation: 20%			
課題に対するフィードバック		・発表後の批評・アドバイス ・ロールプレイ後の批評・アドバイス			
教科書		Handouts from the instructor			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		Eric FORTIN（6 号館 2F L621 研究室）、オフィスアワー:水曜日 16:30～17:30			